

平成29年度第1回原子力災害における避難に伴う渋滞対策検討会 議事概要

- 資料1及び資料2により、事務局から会議の趣旨説明を行った。
- 資料3により、事務局から福島県原子力災害広域避難計画の概要説明を行った。
- 資料4により、事務局から渋滞対策に係る検討項目について、4つの区分（避難方策の具体化、住民啓発・情報発信、情報提供の方策、車両分散の方策）ごとの具体的検討項目（たたき台）の説明を行った。
- いわき市から配付資料により平成28年11月22日の津波警報に伴う渋滞発生を踏まえた「津波災害時における自動車避難検討部会」の検討状況について、説明が行われた。
- 構成機関からの主な意見は次のとおり。
 - ・段階的避難は現実的でなく、一気に避難が始まることを想定すべきではないか。
 - ・避難ルートとして指定されている国・県道には、幅員の狭い箇所が見られ、道路拡幅等の整備もセットで考えることが必要。
 - ・原発の単独災害か自然災害との複合災害かを分けて考えることが必要。
 - ・原発災害として起こりうる想定を正しく住民に伝えておくことが必要。
 - ・災害時に住民が欲しいと思っている情報を適切に伝えられることが必要。
 - ・現状の施策である段階的避難に合理性があることを住民に理解してもらうことが必要。